

2018年2月27日

関係各位

公益財団法人日本陸上競技連盟

お詫び

平素は、本連盟の活動に対し、格別のご高配を賜り誠にありがとうございます。

この度、競歩・鈴木雄介選手が本連盟の強化費に対して不適切な申請を行っていたことに関連し、2016年度に本連盟が実施した、日本スポーツ振興センターの「次世代ターゲットスポーツの育成・強化」委託事業及び「スポーツ振興くじ」助成事業のそれぞれにおいて、同選手の転居前の最寄り駅で交通費を算出したことにより、下記のとおり不適切な経費の報告を行っていたことが判明しました。

現時点で判明した内容については、日本スポーツ振興センターに報告した上で、引き続き確認を行っております。新たな事実が判明した場合、あらためて公表致します。

本件について、深く反省するとともに、再発防止に努めてまいります。

記

●「次世代ターゲットスポーツの育成・強化」委託事業

	(誤)	(正)		(差額)
①合宿	72,040円	71,000円	⇒	△1,040円
②研修会	1,880円	1,220円	⇒	△660円
				△1,700円・・・(1)

●スポーツ振興くじ助成（将来性を有する競技者の発掘及び育成活動助成）

	(誤)	(正)		(差額)
研修会	1,504円	0円	⇒	△1,504円・・・(2)
(総キロ数)	(45.4km)	(18.9km)		

※本事業において、片道20km未満の交通費は助成対象外経費となる。

●不適切な報告額

3,204円・・・(1) + (2)

以上